

報告書抄録

ふりがな	せいなんちくいせきぐんはくつちょうさほうこくしょ 12							
書名	盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅺ							
副書名	道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成 29 年度発掘調査 細谷地遺跡							
編著者名	津嶋知弘							
編集機関	盛岡市遺跡の学び館(刊行：盛岡市・盛岡市教育委員会)							
所在地	〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1 電話 019-635-6600							
発行年月日	2020 年 2 月 28 日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名(略号)	所在地	市町村	遺跡番号	(世界測地系)			(㎡)	
ほそやち 細谷地(OHY)	いわてけんもりおかしむかいなかの 岩手県盛岡市向中野 5・7丁目、あざほそやち 字細谷地	03201	LE26-0214	39°40'42"	141°8'19"	37 次：2017.5.29-8.31 2017.11.22-12.20	4,692	土地区画整理事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
細谷地 37 次	集落	縄文時代 古代 古代以降 近世 近現代		陥し穴 8 溝 1 土坑 2・溝 6 ピット 廃棄土坑 12		剥片 土師器 土師器・須恵器 陶磁器、寛永通宝 ガラス瓶、陶磁器		
要約	盛南地区遺跡群は、平安時代初頭の延暦 22 年(803)に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7 世紀より続く一大勢力「志波エミシ」が 10 世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。本書掲載の細谷地遺跡では、古代の遺構は 1 条の溝跡のみであったが、縄文時代の大規模な帯状の陥し穴群の一部、近世盛岡城下にあったと伝承される御用窯で焼かれた陶器、ガラス瓶をはじめ多くの遺物が出土した近現代「廃棄土坑」群などが確認された。							

盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅺ

—道明地区土地区画整理事業関連遺跡平成 29 年度発掘調査—
細谷地遺跡

令和 2 年 2 月 28 日

編集 盛岡市遺跡の学び館
〒 020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL <http://www.city.morioka.iwate.jp/>

遺跡の学び館

検索

発行 盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 杜陵高速印刷株式会社
〒 020-0811 岩手県盛岡市川目町 23-2